

科目責任者 教務委員長

## ■ 教育目的

種々の寄生虫の形態および生態に加えて、代表的な寄生虫症の診断法と治療法、予防法を理解することを目的とする。また、一般的な衛生害虫および不快昆虫等に関する基礎的知識を習得することも目指す。

## ■ 学習到達目標

1. 医動物学の一般的な基本を習得し、医動物疾患の臨床における医動物学検査の病態的意義を理解できる。
2. 各種医動物の形態、生活史、病態、検査法を理解できる。
3. 臨床検査技師国家試験の問題が理解でき解答できるようになる。

## ■ 準備学習（予習・復習）

予習：初回講義の予習は不要。次週からは先行配布資料に目を通し、各講義範囲の周知に努める。

復習：これまでに聞き慣れない独特の用語が存在するため、復習はこの用語の理解、および各寄生虫の特徴ならびにその生活環の理解に努める。

## ■ 授業形態

講義

## ■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1～2	寄生虫学総論	・ 共生と寄生、寄生虫とは、寄生虫の系統分類 ・ 宿主、寄生虫の生活環、寄生虫症の診療の原則	
3～5	原虫類とその感染症	・ 原虫類の分類、アメーバ類感染症の診断と治療および予防 ・ 鞭虫類感染症の診断と治療および予防 ・ アピコンプレックス類感染症の診断と治療および予防	
6～7	吸虫類とその感染症	・ 吸虫類の分類と形態、生活環 ・ 代表的な吸虫症の診断と治療および予防	
8～9	条虫類とその感染症	・ 条虫類の分類と形態、生活環 ・ 代表的な裂頭条虫症の診断と治療および予防 ・ 代表的な円葉類条虫症の診断と治療および予防	
10～12	線虫類とその感染症	・ 線虫類の分類と形態、生活環 ・ 代表的な線虫症の診断と治療および予防	
13	衛生動物	代表的な衛生動物とその対策	
14	駆虫薬	代表的な駆虫薬とその作用および応用	
15	まとめ	総論から衛生動物までの総まとめ	

## ■ 授業分担者

池 和憲(非常勤講師)(No.1～15)

## ■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席状況および定期試験成績等にもとづいて総合的に評価する。

## ■ 教科書

特に指定しない(必要に応じてプリントを配布)。

## ■ 参考書

特に指定しない(必要に応じて紹介)。